

行政経営会議の内容

件 名	第4期やまと自殺総合対策計画の策定について
所 管 部	健康福祉部
日時・場所	令和7年1月27日（月） 10:00 ～ 10:30 研修室
出 席 者	市長、副市長、教育長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境施設農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり施設部長、市立病院事務局長、議会事務局長、教育部長、消防長、障がい福祉課長
提 出 理 由	第4期やまと自殺総合対策計画を策定するにあたり、素案の内容について了承を得るため
会議経過	【主な意見等】 ・自殺未遂者にはどのような支援をしていくのか。 （所管部）自殺未遂の方の把握が難しく、情報取得の壁があるが、保健所等から自殺未遂者についてのカンファレンス等の案内があった際は、関係各課と連携を図って対応していく。 ・自殺者の遺族にはどのような対応をしていくのか。 （所管部）家族が自殺に追い込まれた状況や周囲の目など、遺族の悩みを聞きながら、関係各課と連携して支援をしていく。 ・妊産婦の死亡の原因の中で、自殺が最も多いという調査結果がある。妊娠中・産後のうつも含めて、包括的な支援を推進する必要がある。 ・若者の自殺対策を考えた際に、SNS での誹謗・中傷なども自殺の原因となり得ると考えられるが、どのように対策していくのか。 （所管部）SNS での誹謗・中傷については、課題意識を持っている。プロバイダに対する規制などの対策も検討されており、国や県と連携しながら、SNS に関する自殺対策を推進していきたい。 ・SNS に関して、小・中学校では定期的に情報モラル教育を行っている。 ・重点施策の1番目をこども・若者の自殺対策とする点は評価できる。全庁的に協力して、こども・若者の自殺を減らしていきたい。 ・小学5年生から中学3年生は、一人一台の端末に、匿名報告・相談アプリケーション「STAND BY」を導入している。これにより、いじめ・虐待なども含めて様々な相談を受ける体制ができており、実際に多くの相談が寄せられている。 ・心の健康を維持するためには、人間関係や仕事など複合的な要因があると思うが、例えば睡眠や食生活などの面も含めた総合的な対策が必要となる。そのため、行政が縦割りとならずに、全庁的に力を合わせて支援していくことが重要である。
会議結果	案のとおり、進めていく。